湘南厚木病院
放射線科　御担当医　先生
ID: _____

診療情報提供書（アミロイドPET検査依頼書）

検査予約日時：　　年　　月　　日
午前　　時　　分

紹介元医療機関
所在地 〒
電話番号／FAX
診療科
医師名

フリガナ		性別	生　年　月　日
患者氏名	殿		
住所			TEL

※受診者に関する身体状態について確認事項

自立歩行	□ 可 □ 車椅子 □ ストレッチャー	閉所恐怖症	□ 無 □ 有	20分静止	□ 可 □ 否
現在状況	□ 外来 □ 入院中	HBsAg	□ － □ ＋	HCVAb	□ － □ ＋
妊娠（女性の方のみ）	□ 無 □ 有 ※妊娠中の方は検査ができません	アルコール過敏症	□ 無 □ 有 ※アルコール過敏症の方は検査ができません	体内金属（頭部）	□ 無 □ 有 ※有の場合、画像や解析結果に影響が生じる可能性がございます。
その他医療機器	□ 装着中の医療機器に関しましては、製造元の案内(添付文書など)に従ってください				

※今回の検査に使用する薬剤をお選びください
□ ビザミル静注　　□ アミヴィッド静注

上記薬剤に対する過敏症の有無をお知らせください。 □ 無 □ 有 □ 使用経験無しのため不明

どちらかの検査目的をお選びください

＜保険適用＞

□ レカネマブ製剤・ドナネマブ製剤の投与の可否を判断する目的
※**下記の全ての事項に該当**（レ点）している必要があります。

□ レカネマブ最適使用推進ガイドライン・ドナネマブ最適推進使用ガイドラインに示す「4.投与対象となる患者及び投与施設」に該当している。

□ Aβ病理を確認する目的で脳脊髄液（CSF）検査を行っていない。

点数をご記入ください	MMSE _____ 点
該当する数字に○をしてください	CDR　0　0.5　1　2　3

＜保険適用外（自費）＞

□ ※**下記の全ての事項に該当**（レ点）している必要があります。

□ 臨床症状や発症年齢が非典型な認知症、軽度認知障害、軽度認知症で、適切な治療方針決定を目的としている。

□ 無症状者、ドック・検診目的、診療以外の目的ではない。

臨床経過	

ID: 0

（紹介患者様用）

アミロイドPET検査・患者様用・検査予約用紙

検 査 予 約 日 時 ： 0 年 月 日 午前 時 分

フリガナ		性別	生 年 月 日
患者氏名	殿		1900年1月0日

● アミロイドＰＥＴ検査とは、アルツハイマー病の原因物質と考えられているアミロイドベータプラークが、脳内に溜まっているかどうかを画像で見ることができる検査です。

【 湘南厚木病院･アミロイドPET検査 】
https://www.shonan-atsugi.jp/cooperation/support/about_ami-pet/about.php

左のQRコードより
御確認いただけます。

● 検査予約時間の１時間前には「湘南厚木病院 外来棟１階の受付」へおこしください。

● 検査当日お持ち頂くもの
①紹介状（診療情報提供書（アミロイドPET検査依頼書））
②マイナンバーカード・資格確認書・各種医療受給者証など
③湘南厚木病院診察カード（お持ちの場合のみ）



◆お車でお越しの場合
①厚木インターで降りて、国道129号線を北上。
②厚木市文化会館前を左折し、一つ目の信号を左折。
③300m先を左折。

◆電車でお越しの場合
新宿より小田急小田原線にて本厚木駅まで約50分。
本厚木駅より徒歩約15分。（タクシー利用約10分）

◆路線バスでお越しの場合
①本厚木駅南口14番乗り場（東京農業大学行）
赤羽根入口下車（徒歩1分）
②本厚木駅バスセンター９番乗り場（森の里方面行）
赤羽根入口下車（徒歩1分）

◆シャトルバスでお越しの場合
本厚木駅南口より随時運行してます。
日曜・祝祭日は運休いたします。
時刻表は当院ホームページをご覧ください。

◆検査料金
料金の目安は、1割負担の方で約2万円
3割負担の方で約7万円
10割負担の方で約22万円
※年齢、世帯収入により請求額が異なる場合があります。

※ 来院できなくなった場合には、下記までご連絡ください。
※ 当日キャンセルの場合には、検査薬剤費用として19万円(税込)をご負担いただきます。

湘南厚木病院 病診連携室

電 話 ０４６－２２３－３６３６
FAX ０４６－２２３－３６３０

放射線検査を受けられる方へ

《放射線被ばくに関する説明書》

□放射線検査の必要性について

放射線検査は放射線を用いて体内の状態を画像化することができます。得られた情報は病気の発見や診断、治療方針の決定などに重要な役割を果たしています。また、画像を見ながら診断と治療を同時に行う場合もあります。その一方で、放射線診療には放射線被ばくによる不利益も存在します。

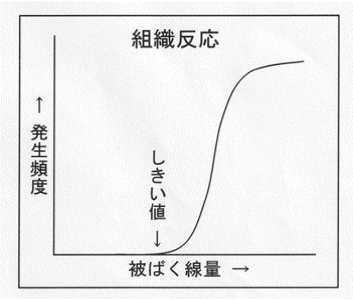
今回の放射線検査は、
『得られる利益が、放射線被ばくによる不利益を上回っている。』
と医師は判断しました。

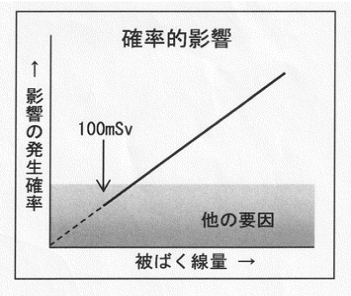
□放射線検査による被ばく線量とその影響について

被ばく線量： 放射線診療による被ばく線量は、そのほとんどが100mSv(ミリシーベルト)未満です。
※ 診断と治療を同時に行うものの一部を除く

組織反応： ある一定の線量いわゆる“しきい値”を超えると現れる身体的影響です。線量の増加に伴い影響の発生頻度や重症度が増加します。身体的影響は被ばくした組織や臓器にのみ出現します。皮膚障害、脱毛、白内障、不妊、胎児奇形が知られています。診断と治療を同時に行うもので、その可能性が考えられる場合には、事前に医師が説明を行います。

確率的影響： 放射線被ばくにより、ある確率をもって現れる身体的影響です。しきい値はなく、線量の増加に伴い発生確率が増加すると考えられています。発がん等が知られています。これまでの研究では、100mSv以下の放射線被ばくによる影響は確認されていません。
また、その線領域では、他の要因（喫煙、食事、ウイルス、環境汚染、ストレス等）によるリスクと比べてもかなり小さいと考えられています。





□医療被ばく適正化の取り組み

当院の放射線検査では、関連学会のガイドラインをもとに適正な条件で検査等を行い、放射線被ばくを必要最小限にするように努めています。また、その被ばく線量を管理すると共に、関連する職員に対しては医療放射線に関する研修を行っています。内容についてご不明なことがございましたら、ご遠慮なく医師または診療放射線技師にご相談ください。

湘南厚木病院　　TEL：046-223-3636 ㈹